

ユーザ・オリエンティッドなOPAC実現のために

平成15年度第2回総合目録データベース実務研修



アウトライン

1. 問題の所在

2. データの作り方

3. 検索システム

アウトライン

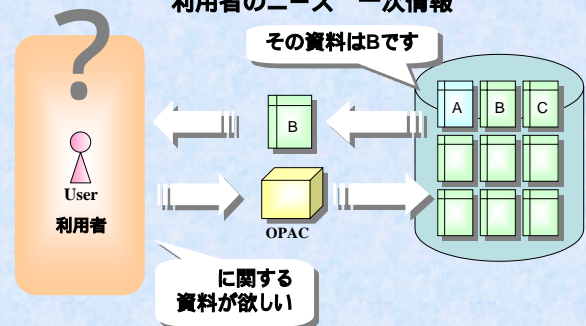
1. 問題の所在

2. データの作り方

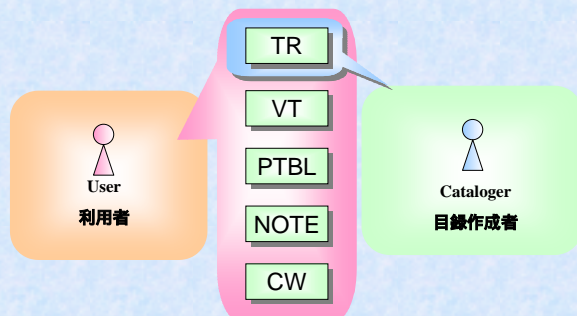
3. 検索システム

問題の所在

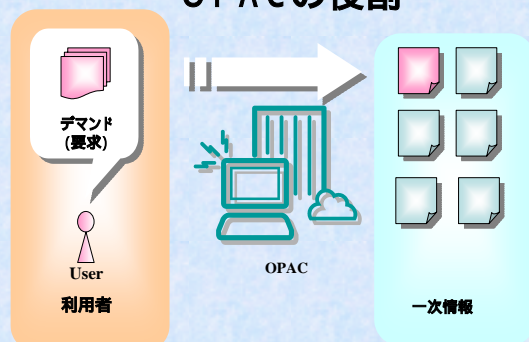
利用者のニーズ 一次情報



利用者にとっての「タイトル」とは？



OPACの役割



アプローチ

データの作り方

- データ中に十分な情報があること

検索システム

- 検索における機能
- 表示における機能

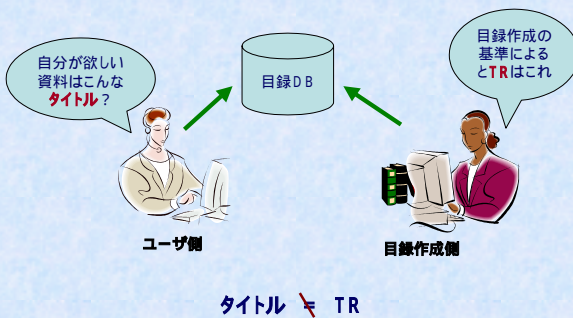
アウトライン

1. 問題の所在

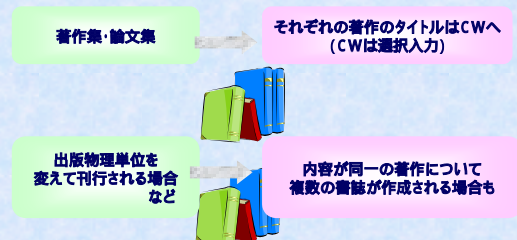
2. データの作り方

3. 検索システム

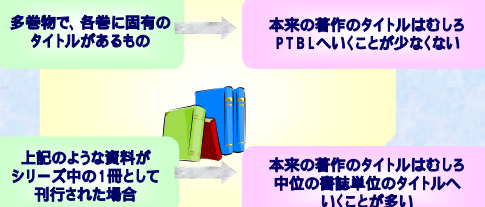
こんなことって ... よくある？



ユーザのイメージするタイトルは“著作”の単位

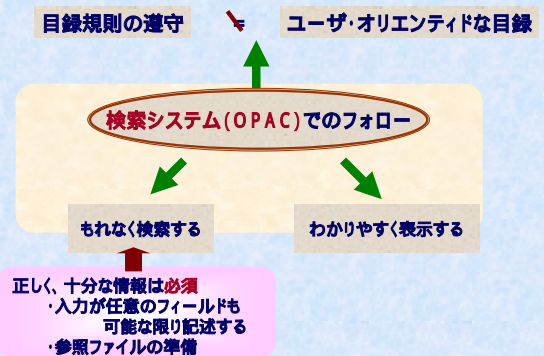


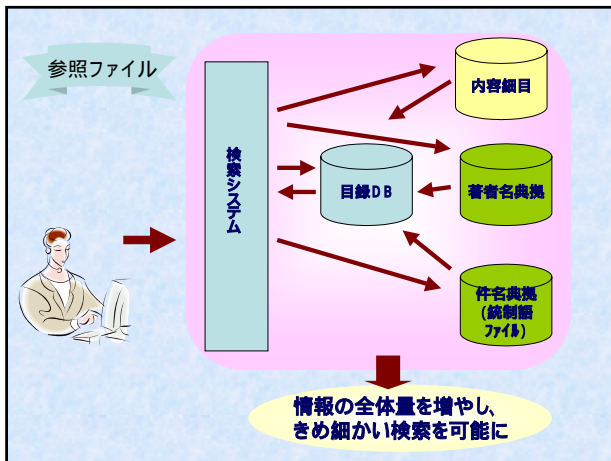
こんな場合も



- ・著作のタイトルに関する情報はTRばかりではなく、様々なフィールドへ分散する
- ・書誌作成単位は利用者のイメージを裏切る場合がある

ではどうしたら？





アウトライン

1. 問題の所在
2. データの作り方
3. 検索システム

検索機能

検索システムのポイント1

- ナビゲーション機能
 - ディレクトリ型
 - 検索語候補の表示
 - たとえば参照用の辞書ファイルを搭載

ナビゲーション機能: ディレクトリ型 - 相関索引を利用

「ことば」の入力 → 検索語候補の表示 → 結果の表示

図書館

図書館経営 [244]
 図書館計画 [18]
 図書館建築 [56]
 図書館広報活動 [34]
 図書館財政 [16]
 .
 .
 .

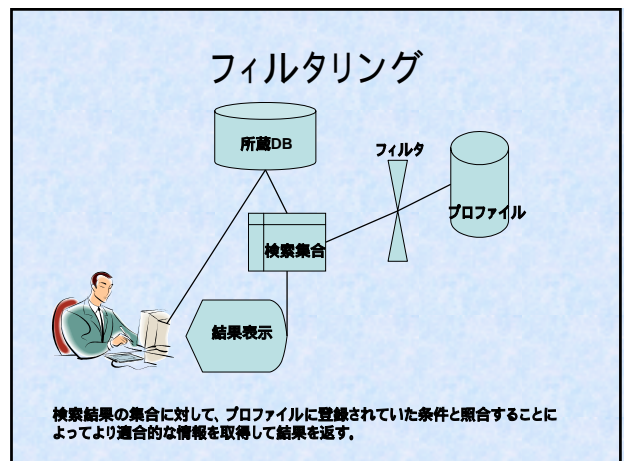
1. 町村図書館における図書館計画
 2. 図書館計画と財政
 3. 中小都市における図書館計画
 .
 .
 .

参考: 獨協大学図書館OPAC
<http://www.lib.dokkyo.ac.jp/>

表示機能

検索システムのポイント2

- 任意のキー(書名、著者名、刊行年等)によるソート機能
- **フィルタリング**による有用な情報の抽出 / 不要な情報の排除
- 検索条件に対する **適合率**算出による結果表示



適合率による表示:ランク付け

| 検索結果(一覧表示) | | |
|--|-----|------|
| 題名 / 著者名 | 適合率 | 所在 |
| 愛の輪: 母の輪: 'いじめ' と校内 家庭内暴力 教育小説 / 高田丈夫著 樹芸書房 1985 | 99% | 図書館 |
| アメリカの家庭内暴力: 子ども 妻 親虐待の実態 / 廣谷文枝著 サイエンス社 1983 | 95% | 図書館 |
| 家庭 (松浦麗子 1983) 発達障害精神の科学力 | 89% | 社会学部 |
| 家庭とともに暮らす学校 ひきこもり いじめ 家庭内暴力 虐待などを解決する大塚教師のカウンセリング / 安川隆史 杉本博文共著 / 第一高等学校と監修 文芸社 2003 | 80% | 社会学部 |
| 学校内暴力 家庭内暴力: 親と子の自立への道をさぐる / 瓜生真由か著 有楽閣 1980(有楽閣新書[C-85]) | 70% | 図書館 |
| 薬師すもゑ野郎: 登校拒否 不登校 家庭内暴力と家庭精神療法 / 水野昭夫著 日本評論社 1988 | 65% | 社会学部 |
| 家庭内暴力 / 芥木俊夫編著 開隆堂出版 1991(実務 問題行動教育大系9) | 60% | 社会学部 |
| 家庭内暴力 / 芥木俊夫編著 開隆堂出版 2002(子どもをとりまわす問題と教育 4) | 54% | 図書館 |
| 家庭内暴力 / 若林博一編 本城秀次著 金剛出版 1987 | 53% | 図書館 |
| 高橋誠人 江崎玲子編 学事出版 1982 | 50% | 図書館 |

まとめ

情報探索ツールとしてのOPAC: 真に利用者のニーズに応えられているか?
 まだまだ改善の余地がある



データ

・著作物の「タイトル」の入力 (TR,CW...), あるいは参照ファイル・リンク

システム

・**検索段階**でのサポート: 適切な検索語選択のため
 ・**結果表示段階**での工夫: 探索者のニーズにあった結果のために (任意のキーでのソート、フィルタリング、適合率算出 etc)